

## 日本音楽知覚認知学会 平成 26 年度 第 2 回 理事会議事録

日時： 平成 26 年 11 月 29 日（土） 11:00～13:00

開催場所： 金沢工業大学（扇が丘キャンパス） 23 号館 2 階会議室

出席者（敬称略・順不同）： 星野悦子、小川容子、山崎晃男、荒川恵子、岩宮眞一郎、大串健吾、亀川徹、桑野園子、菅千作、津崎実、中島祥好、三浦雅展、森下修次

### 報 告

#### 1. 平成 26 年度春季研究発表会研究選奨受賞者について

荒川恵子常任理事（学会賞担当）から、春季研究選奨受賞者は 1 名で、大澤智恵さん（日本学術振興会・京都市立芸術大学音楽学部。題目：「ピアノ鍵盤の空間的記憶の正確性分布における左右差と学習効果」）であることが報告された。

#### 2. 平成 26 年度秋季研究発表会 研究選奨選考委員の委嘱について

4 名の理事が委嘱された旨、荒川恵子常任理事（学会賞担当）から報告された。

#### 3. 学会 HP の外部サーバーへの移行について

三浦雅展常任理事（学会アーカイブ担当・学会 HP 担当）から、学会 HP のコンテンツはすべて新サーバーのサイトに移行完了したことが報告された。

#### 4. 学会 HP 「アーカイブ」について

下記の追加事項の確認と今後の方針が、桑野園子理事（アーカイブWGチーフ）より報告された。構成メンバーはこれまでの通り（敬称略）：桑野（チーフ）、難波、大串、岩宮、星野、三浦（HP 担当）、藤沢、安達、谷口、高橋（事務局担当）である。本学会の経緯と歴史、その他の資料を HP 上に残すため、サイト掲載の流れが確認された。国際学会関係(ICMPC, APSCOM)の動きについては、国際渉外担当理事 2 名（ICMPC については山崎晃男理事、APSCOM については中島祥好理事）がそれぞれ簡単な紹介記事とその後の動きを書くこととなった。

#### 5. 学会誌「音楽知覚認知研究」の原著論文バックナンバー電子化の進捗状況について

今年度中に、第 1 巻～第 6 巻（2 号）までの論文のデジタル化着手の見通しのたったことが、星野悦子会長から報告された。必要機材/ソフトの購入の是非については執行部に一任された。

#### 6. 日本学術会議協力学術研究団体の称号申請結果について

平成 26 年 6 月 27 日付けで、学術会議協力学術研究団体の称号申請が受理された旨、星野悦子会長より報告された。

#### 7. 「音楽知覚認知研究」の発刊と今後の予定について

第 20 巻（2 号）が印刷所に入稿されており、早くて来年 1 月末には発行予定であることが、津崎実常任理事（学会誌編集委員長）より報告された。

#### 8. 次回春季研究発表会について

平成 27 年の春季研究発表会は北海道教育大学札幌校（世話役：吉野巖理事）がお引き受け下さった旨、谷口高士常任理事（研究発表会担当/欠席）に代わり星野会長より報告された。日程は来春 5 月末か 6 月初めの土日予定（1 月中には決まる見込み）である。

#### 9. 次期会長選挙管理委員会の設置について

平成 27 年春季研究発表会をもって現役員の任期は終了することから、森下修次理事に次期役員選挙管理委員長を委嘱し快諾いただいた旨、星野悦子会長より報告された。

## 議 題

### 1. 学会業務に関連した旅費の申請について

学会の会務出張の際の旅費規定を定めることは前回の理事会で継続審議となったが、再度「旅費規程」および「旅費報告書」について、高橋範行常任理事（事務局担当/欠席）に代わり星野悦子会長より提案された。再び文面内容の修正が必要であることが指摘され、理事メールで審議継続することとなった（執行部より再々度文面を提出する予定である）。

### 2. 研究発表会の参加費値下げについて

研究発表会の参加費用を値下げしてはどうかとの提案が星野悦子会長よりなされた。現在の参加費（会員については、一般 4000 円、学生 2000 円）を値引きした場合に、学会としての採算が具体的にどうなるかを執行部・事務局で精査した上で、次回の審議継続としたい。

### 3. 研究発表会から学会誌の寄書・原著論文へ推薦する制度について

津崎実常任理事（学会誌編集委員長）よりの提案で、研究発表会で発表された中から、理事・監事（編集関係の委員を除く）が学会誌への寄書・原著論文へ推薦をしてはどうかということが審議された。その推薦を参考に、編集部が発表者へ依頼文を送る制度である。特に異議なく了承された。次回理事会までに、津崎編集委員長が依頼文の文案を提出することとなった。

### 4. ISPS (International Symposium on Performance Science, 演奏科学国際シンポジウム) 2015 との協賛/補助について

三浦雅展常任理事 (ISPS 組織委員長) より、本学会へ下記 3 点の要請議題が提案された。

1、基調講演の一つを音楽知覚認知学会との共催とし（本会員は基調講演を無料聴講できる）、それに係る支出への助成を本学会へ要請したい旨の提案がなされた。これについては呈示金額（30 万円）の妥当性について異論が続出し、審議の結果、20 万円を学会の国際活動支援基金より拠出することで了承された。2、青山財団へ ISPS への補助を申請するに際して、申請者を本学会とすることについては、審議の結果了承された。3、国際活動支援基金から、参加費が入って来るまでの ISPS の活動を支える運転資金として、本学会から借入金として 50 万円～100 万円程度を一時提供してほしい旨、要請が出された。また、経費赤字の場合は、そこから補てんしてほしいとの意向も示唆された。この件については、音知会以外の他学会への助成の前例ともなり得るため、その金額や方法については慎重を期す必要性があり、理事メールで継続審議となった。なお、1、の 20 万円拠出という措置は今回 1 回に限ること、今後の他の国際会議に関してはその都度、審議することが了承された。

### 5. APSCOM (Asia-Pacific Society for the Cognitive Sciences of Music, アジア・太平洋音楽認知科学協会) 2017 の国際学会の日本開催について

APSCOM の次回大会の開催担当国が日本であることは、前回の理事会で了承されている。会場等の具体的な報告提案が中島祥好常任理事（国際渉外担当、APSCOM 副会長）から行われるはずであったが、理事会の審議終了時間が迫っていたため、理事メールにて改めて審議することとなった。

### 6. 名誉会員の推薦について

桑野園子理事を音楽知覚認知学会の名誉会員へ推薦することについて、大串健吾理事より審議提案がなされ、推薦文と資料により審議され、満場一致で了承された。

### 7. その他           なし

以上